

『ヘルプマーク』と『サポートハートマーク(逆ヘルプマーク)』について

ヘルプマーク

サポートハートマーク (逆ヘルプマーク)

お手伝いが必要です?
声をかけてください

2種類の意思表示で、
思いやりをわかりやすく。
お互いに過ごしやすいです

サポートハートマークは、「困っている人を助けたい」という方が身に着けることで、障害や病気を抱える方といった支援を必要としている人(当事者)が、マークを身に着けている人に「手伝ってください」と声をかけやすくして、当事者が安心して過ごせるようにするためのマークです。

サポートハートプロジェクト自体は終了しているようですが、サポートハートマークの台紙データはダウンロードして活用することができます。

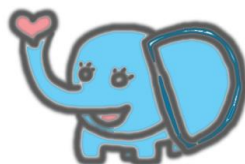
→ 『サポートハートプロジェクト』 <https://support-heart.org/index.html#heart>

春は出会いの季節ですが、マスクのせいで、新しく出会った人たちの顔がなかなか覚えられない人も多いのではないのでしょうか。

発達障がいの人、相手の顔と名前を覚えるのが苦手だと言われているが、不思議と我が家の長男には当てはまりません。車に乗っている人なら車とセットで、身長を聞いている人なら、身長もセットで覚えていきます。学習面での記憶力はさっぱりだったので、何事にも記憶力がいいというわけではなく、『人』に興味があるのでしょう。関わり方は、かなり怪しいですが、就職して3年目を迎えました。息子が仕事に慣れたというよりは、周囲が息子の扱いに慣れてきたのではないかと感じています。温かい支援に感謝しています。(亜)

ダンボクラブでは、発達障がいについて広く理解していただくための啓発活動を行っています。ご賛同いただける方の温かいご支援を募集しています。ボランティア活動にご興味のある方、ご寄付いただけます方は、下記までご連絡下さい。

お問い合わせ: damboclub@hotmail.co.jp
お振込口座: 伊予銀行 小栗支店 普通 1321818
ゆうちょ 記号 16170 番号 25583311
ダンボクラブHP → <https://www.dunboclub.com/>



ダンボ通信

☆154号☆
発行日: 2022年4月

****ダンボクラブについて****

高機能自閉症、アスペルガー症候群という言葉を知っていますか？
私たちは、そんな子どもたちを育てています。
この広報は、ダンボクラブがどんな活動をしているのか知っていただくために作りました。

☆☆☆活動報告☆☆☆

★保護者会&アドバンス 3/12(土)★
Zoomで座談会を実施しました。

★成人当事者会「ワンピース」 3/20(日)★
Zoomで茶話会を実施しました。

★勉強会 3/14(月)★
臨床発達心理士、特別支援教育士で教諭の新開多恵先生との勉強会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。



イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月11日は、イオンのイエローレシートキャンペーンです。買い物時にいただく黄色レシートをダンボクラブのボックスに入れてください。レシート金額の1%がダンボクラブに寄付されます。御協力よろしくお願いします。

知っていますか？

障害者手帳を、あなたのスマホへ。

MIRAIRO ID

障害がある人の移動や生活をも
っと便利に、もっと自由に。



『ミライロ ID』 ホームページ :

<https://mirairo-id.jp/>

障害者手帳アプリ「ミライロ ID」とは……

障害者手帳を所有している方を対象としたスマートフォン向けアプリのことです。ユーザーは障害者手帳の情報を登録することで、スマートフォン画面に手帳情報が表示できるようになります。また、公共交通機関や商業施設等をご利用の際に「ミライロ ID」を提示することで、障害者割引や必要なサポートがスムーズに受けられます。



人と企業をつなぐ、 障害者手帳アプリ

カバンや財布から取り出していた障害者手帳を、これからはスマホでパッと提示できます。外出する障害者、向き合う事業者、みんなの便利をミライロ ID が実現します！

※各施設の利用目的でのみ使用できますが、身分証明書として障害者手帳の代わりになるものではありません。

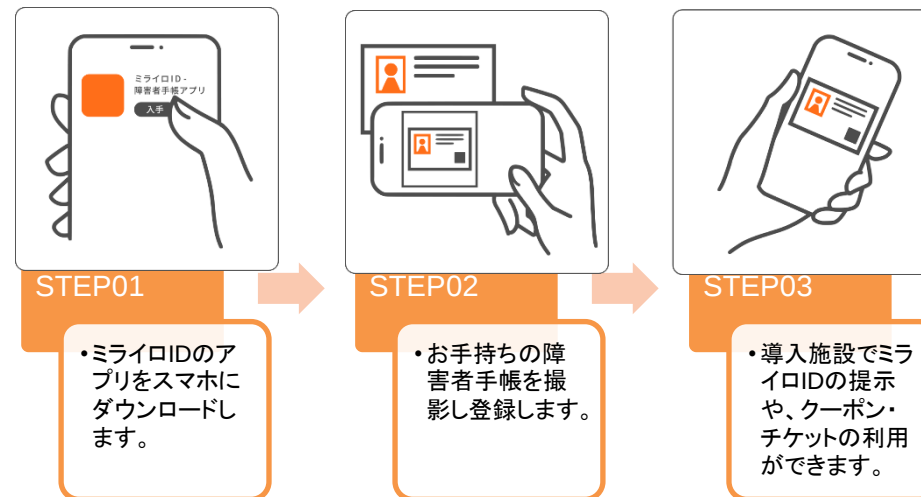
- ✔ スマホひとつで完結
- ✔ 必要な情報だけを表示
- ✔ いつでも更新が可能

- ・ 障害者手帳をスマホに表示
- ・ お得に使える電子クーポンを提供
- ・ 障害者割引価格のチケットを提供
- ・ 一人ひとりに合わせた情報を配信



・ 必要なサポートの伝達をアシスト

ミライロ ID の使い方



例えば松山市では

- 松山城(ロープウェー・リフト、観覧料)
- 子規記念博物館
- 坂の上の雲ミュージアム
- JR 四国
- 伊予鉄道

……などで、利用可能となっています。

※スマートフォンの画面で必要な情報が確認できないなどの場合は、障害者手帳での確認が必要になりますので、利用にあたっては事前に各施設にお問い合わせください。



実現したい未来

国内には、964 万人の障害のある方が暮らしています。その方の周りには、ともに暮らす家族や友人がいます。

1952 年より障害者手帳を用いた割引制度が定められ、障害のある方の社会参加を促すきっかけとなりました。一方、障害者手帳の確認は、障害のある方だけではなく、対応する事業者にとっても大きな負担となっています。

障害のある方が外出しやすく、事業者の対応もスムーズになる、新たな未来の実現をミライロ ID は目指します。

『ミライロ ID』 HP より